

がん遺伝子パネル検査用 病理組織検体取寄せ依頼書

本検査では下記の病理組織検体が必要となります。

つきましては、**必ず病理検体、病理診断書（コピー）**のご準備をお願いいたしたく、ご連絡させていただきました。

もし貴院で免疫染色も実施されておられましたら、その標本も併せてご提供頂けますと幸いです。

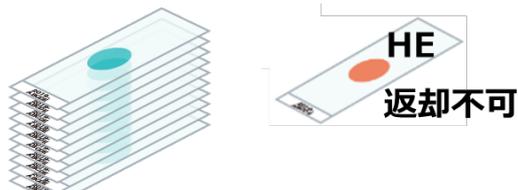
以上、お手数をおかけいたしますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

<お送りいただくもの>

- 病理組織診断書
- 病理検体（下記①②のいずれか）

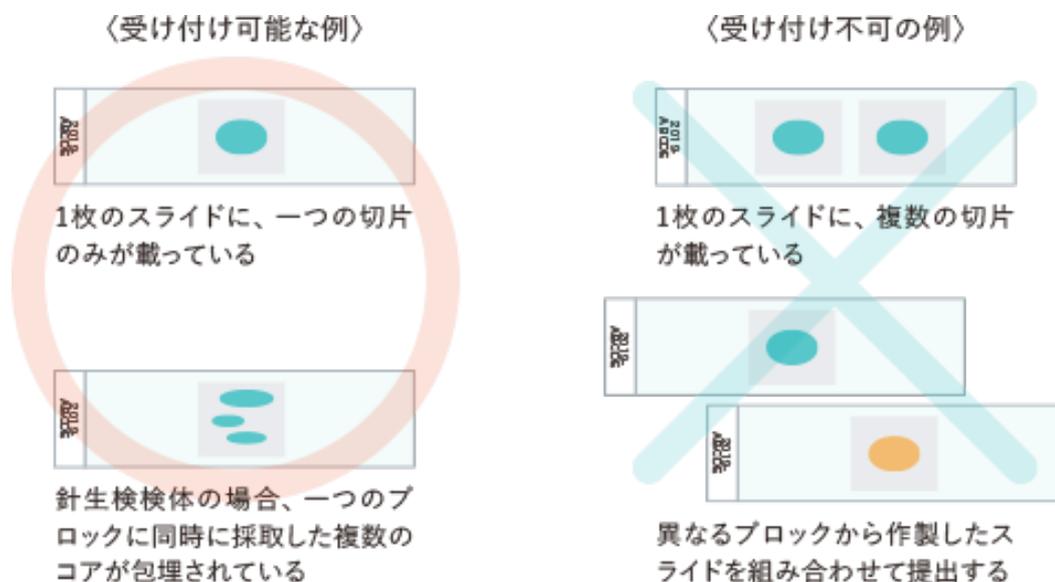
お願い

薄切日とご郵送いただく検体の**採取部位**を病理組織診断書にご記入をお願いします。

①FFPEブロック+HE 標本 1枚	②FFPE 薄切未染色標本+HE 標本 1枚
 <p>※複数ブロックをお送りいただく場合は、それぞれのHE 標本をお送りください。</p> <p>※腫瘍割合が多い部分のブロックをお送りください。</p> <p>※組織量が少ない場合は、返却するブロック内に組織が残らない場合がありますので、ご了承ください。</p> <p>※返却は結果説明後になります。</p>	 <p>5μm 厚 10~20 枚 3~4μm 厚 5 枚</p> <p>2種類の厚さのご準備をお願いいたします。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 5μm 厚（コーティングガラス）：10~20 枚（がん遺伝子パネル検査に提出用） 20枚が望ましいですが、難しい場合、最低10枚はご準備ください。・ 3~4μm 厚（コーティングガラス）：5 枚（組織型により免疫染色を追加するため） <p>※ご注意： 検体サイズが小さい、もしくは腫瘍細胞が少ない等の場合は、できるだけ多くの5μm 厚未染色スライドをご提出ください。 （当院での腫瘍細胞率評価にて、お申込み可能な検査に制限がかかる可能性があります）</p>

以下のようにスライド作製をお願いいたします。

1 スライドに2切片だと検査できませんのでご注意ください。



<https://chugai-pharm.jp/pr/npr/fl/flt/test/speci/> より引用

【注意点】

- **加熱・伸展操作はおこなわない**でください。
- **腫瘍細胞率が低い場合や組織が小さい場合は、ブロック検体の送付**をご検討ください。
- 固定液は **10%中性緩衝ホルマリン溶液**であることを確認してください。
- **固定時間が48時間を超えるもの、あるいは作製後3年以上経過した検体は、検査がうまくいかない**場合があります。
- **腫瘍細胞率が20%以上（肝臓の場合は40%以上）**の部位を送付ください。

検体送付先

京都大学医学部附属病院 地域医療連携室
〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町 54
電話：075-751-3110

当院での現在取り扱っているがんゲノム検査の詳細につきましては、がんセンターのホームページ「がんゲノム医療」「がんゲノム特別外来受診の流れ」をご参照ください。

URL: <http://www.cancer.kuhp.kyoto-u.ac.jp/>

上記内容に不明な点がございましたら、当院地域医療連携室までお問合せください。
お手数をおかけいたしますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。